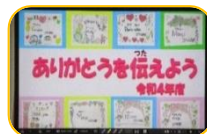


ありがとうを伝える会



白山小学校では、お世話になっているサポーターの方々をお招きして感謝の気持ちを伝えるありがとう集会を例年行っています。今年はありがとうを伝える会として、3年ぶりにサポーターの方々をお招きし、TV集会の形としました。スライドでは、サポーターの皆さんと活動した1年間の楽しい思い出を振り返りました。子どもたちは、サポーターさんたちへの感謝の気持ちを改めて確認し、お世話になった方々に、お礼の言葉を伝えて、プレゼントを贈呈しました。



リコーダーの魅力



2月1日に3年生と4年生は、音楽の先生が所属する「リコーダーアンサンブル」の皆様からリコーダーの魅力を知る講習会を開いていただきました。子どもたちは、自分たちの知らないリコーダーを紹介してもらい楽器の音色や特徴を教してもらいました。その後、「ピーターとオオカミ」のお話をリコーダーの音を使って表現する読み聞かせを楽しみました。最後に、ハウルの動く城の挿入歌である「人生のメリーゴーランド」と「ふるさと」の2曲を演奏していただきました。子どもたちは、心に響く音色に感動していました。

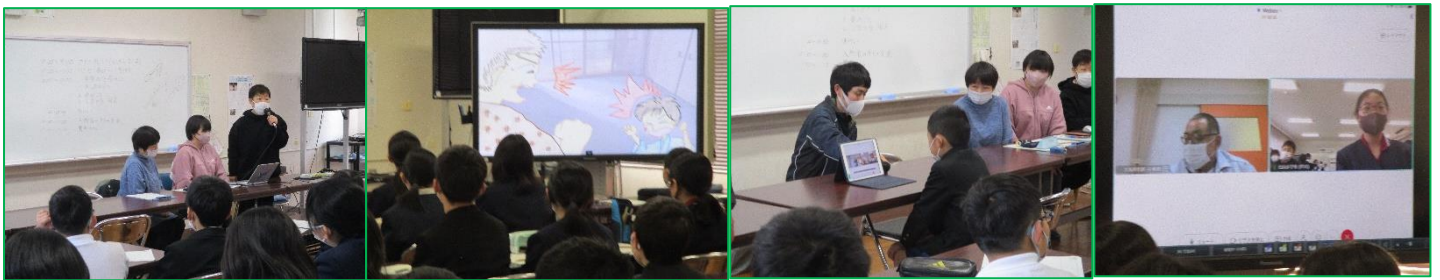




ハンセン病問題学習



2月6日に、5年生ははくざんっ子学習で大島青松園の職員3名の方を講師に迎えて、「ハンセン病問題学習」を行いました。講師の方々からは、ハンセン病についての基礎的知識を教えてもらったり、入所者さんのお話を基に作成した紙芝居の読み聞かせをしていただいたりしました。入所者さんたちの苦しかった生活や差別や偏見に苦しんだこと、その中で生きがいを見つけて取り組んだことなどがわかりました。また、入所者のみなさんとオンラインでお話することで交流することができました。子どもたちにとっては、人権や差別について考える貴重な時間となりました。



| | | |
|--|--|---|
| <p>先日は、ハンセン病についてお話をありがとうございました。わたしは、はじめてハンセン病という病気を学びました。ハンセン病は、見た目に変化があるため差別されていたけれど健康な人は、ならない弱い病気としました。でも昔はなおす薬がなくて、ひどい差別をうけていたのだから、わたしはハンセン病にかかっても差別しないようにしたいです。先日は、ほんとうにありがとうございました。</p> | <p>先日は、ハンセン病について教えてくださりありがとうございました。私は、初めてハンセン病について学んだので少し恥ずかしかったけれど分かりました。ハンセン病にかかると人は、家族とのつながりをなくし大島に来たらお金がその場所ですぐつかえないものになってしまうことが分かりました。これからは、何か病気にかかっている人がいても差別をしないようにしたいです。ハンセン病について教えてくださりありがとうございました。</p> | <p>この前は、ハンセン病について教えていただいてありがとうございました。わたしはハンセン病について知らなかったけれど大島青松園のみなさんの話を聞いてハンセン病のことが分かりました。とくにハンセン病にかかると人は生きるのがつらくても支え合って生きていることがすごいいいと思いました。</p> |
|--|--|---|



ニュースポーツに挑戦!



3年生は、三木町スポーツ推進委員の皆さんの指導のもと、ニュースポーツの「卓球バレー」、パラスポーツの「ボッチャ」とフィンランド発祥のスポーツ「モルック」を体験しました。卓球バレーは、障害に関係なく椅子や車椅子に座ってできるスポーツです。1チーム6人、相手チームを合わせて12人が、卓球台を囲んで座ります。慣れてくると、スピードも速くなり大いに盛り上がりました。また、東京パラリンピックで競技されたボッチャにも挑戦しました。白山小学校には、ベルマークで購入したボッチャの用具もあり、体験した子どもたちもいました。モルックは初めての体験でしたが、どのゲームもチーム対戦では、白熱のプレーに盛り上がっていました。子どもたちは、誰もが楽しめるよう工夫されたスポーツを体験し、それぞれのスポーツの魅力に気がきました。

